

## HCI プログラミングレポート課題

HCI プログラミングで学んだことをもとにして GUI アプリケーションを作成しましょう。

### ■アプリのテーマについて

テーマは「リフレッシュ」とします。アプリケーションのジャンルは問いません。

### ■報告書について

報告書は 4 項目からなり、A4 二枚までにまとめます。4 項目は「アプリの名称」と「アプリの概要」、「アプリのデモ」、「考察」です。各項目の内容は次のとおりです。

- アプリの名称 アプリの機能を明確に表す名前を付けます (1 行)
- アプリの概要 どのような機能をもつのかを数行で記述します (3 行以内)
- アプリのデモ 動作画面のスクリーンショットを貼り操作方法を解説します  
※アプリの採点対象の各部品がどのように使われているのかを必ず説明します  
例えば、「検索ボタンを押したら、処理結果が結果ラベルに表示される」など
- 考 察 次の 4 点について記述します (5 行以上)  
1.工夫した点 2.アプリの感想〔2 名以上〕 3.感想の分析 4.今後の展開

※講義用ページに Word のテンプレートを準備していますので必ずこれを用いて作成しましょう

※Word テンプレートの 1 ページ行数や 1 行文字数、フォント、フォントサイズ、上下左右のマージンの変更は禁止です

### ■レポート課題の評価〔100 点〕 = アプリ〔70 点〕 + 報告書〔30 点〕

#### ★アプリの採点〔70 点〕基準：

以下の項目が**有効**にアプリに実装されている場合に加点し評価とします。

- +10 点 イメージ (ラベルやボタン、チェックボックス、ラジオボタン、メニューのアイコン表示、キャンバスの画像表示のいずれか) の利用
- +10 点 ラベル (文字列の表示) の利用
- +10 点 ウィンドウイベント、マウスイベント、アクションイベントのいずれかの利用
- +10 点 ボタン、チェックボックス、ラジオボタンのいずれかの利用
- +10 点 メニュー、ポップアップメニューのいずれかの利用
- +10 点 テキストフィールドの利用
- +10 点 キャンバスの利用

※加点は対応する GUI 部品が有効に使用されていることが必須です。テキストフィールドを貼りつけたのみでこのフィールドのデータを他の処理に使用しない場合は、テキストフィールドの加点は行いません

※画像ファイルを用いる場合は著作権に注意しましょう

※コンパイルエラーや画像ファイルなどの不足により**実行が確認できない場合は 0 点**とします

※アプリの内容が**出席課題や発展課題に酷似したものは 0 点**とします

※皆さんと教えあひながらのアプリ制作は大変に良いです。

※ただし、コードのコピーなどにより**全体にわたり酷似したコードの場合はお互いに 0 点**とします。

#### ★報告書の採点〔30 点〕基準：

各 4 項目の配点を順に 5 点、5 点、10 点、10 点とします。十分に記載されている場合 (5 点または 10 点) から不十分な場合 (0 点) として評価を行います。

※アプリの実行が確認できない場合は報告書の内容を再現/確認できないため採点は行いません (0 点)

### ■提出先と提出期限

提出先 WingNet 上の提出箱「HCI★レポート課題」へ **※期限 1 週間前に設置します**

- アプリファイル一式 (.lzh または .zip)  
※ソースファイルの他、画像ファイルなど動作に必要なすべてのファイルを圧縮して  
1 つのファイル (.lzh または .zip) にまとめてアップしてください。
- 報告書ファイル (.pdf)  
※Word の〔名前を付けて保存〕から pdf 形式を選択してください。

**提出期限 2018 年 1 月 16 日 (火) 23:59**